

もっと知ろうよ I C A 6 I C Aの地域支部

I C Aには、現在10の地域支部が結成されている。一番最近結成されたのが、全史料協もその設立総会に参加した、東アジア地域支部E A S T I C A（エスティカ）で、1993年の発足。これに対し、最も歴史がある地域支部は、1965年に発足したカリブ地域支部、略称C A R B I C A（カルビカ）だ。その間に、東南アジア地域支部S A R B I C A（サルビカ、1968）、東・南アフリカ地域支部E S A R B I C A（エサルビカ、1969）、アラビア地域支部A R B I C A（アルビカ、1972）、ラテンアメリカ地域支部A L A（アラ、1976）、西南アジア地域支部S W A R B I C A（スワルビカ、1976）、西アフリカ地域支部W A R B I C A（ワルビカ、1977）、太平洋地域支部P A R B I C A（パルビカ、1981）、中央アフリカ地域支部C E N A R B I C A（セナルビカ、1982）の8つの地域支部が結成されている。各支部とも、支部の機関誌の発行と、定期的な会議の開催を行っている。I C Aの規約は、地域支部を「地理上、同一広域範囲にある各国にあって、相互協力の強化を望む文書館とアーキビスト」が結成できるものと定め、結成にあたり、その「地域内各国のI C AのカテゴリーA、B会員の半数以上がその地域支部に加盟していること」、国立文書館機関の地域支部加入については、その前にI C A自体に加盟すること、などいくつかの条件が示されている。1992年、カナダで東アジア地域支部結成のための会合があった。「これで世界中がI C Aの地域支部でカバーされることになった」と歓迎されたのは、記憶に新しい。背景には、東アジア地域の国と地域（テリトリー）の政治情勢が、ソ連の崩壊により新たな局面をみせたという、まさに国際政治情勢そのものの事情が絡んでいた。昨年12月にはマカオで第2回E A S T I C A

総会が開催された。ここに初めて、東アジアの7つの国と地域のすべてから代表が集まった。そして第3回総会は1997年秋に日本で開催することが決まった。しかし、97年秋、香港のE A S T I C Aにおける地位はどうなるのだろうか。I C Aの舞台では国際的な政治情勢が具体的直接的に鋭く影響する。

なお、I C Aに連なる欧米各国のためには「欧州計画会議I C A/EUR」という、地域支部とは異なる機構が設けられている。

I C A地域支部設立年一覧

設立年	地 域 支 部 名
1965	カリブ地域支部 C A R B I C A（カルビカ）
1968	東南アジア地域支部 S A R B I C A（サルビカ）
1969	東・南アフリカ地域支部 E S A R B I C A（エサルビカ）
1972	アラビア地域支部 A R B I C A（アルビカ）
1976	ラテンアメリカ地域支部 A L A（アラ）
1976	西南アジア地域支部 S W A R B I C A（スワルビカ）
1977	西アフリカ地域支部 W A R B I C A（ワルビカ）
1981	太平洋地域支部 P A R B I C A（パルビカ）
1982	中央アフリカ地域支部 C E N A R B I C A（セナルビカ）
1993	東アジア地域支部 E A S T I C A（エスティカ）

（小川千代子 国際資料研究所）